

とっておきの魅力を高めて 交通ネットワークの充実を

— 京都北部地域の交通対策検討調査報告書 —



平成17年3月

社団法人 京都経済同友会 北部部会
京都府北部地域交通問題研究会

はじめに

京都北部地域は、豊かな自然環境や歴史文化資源を活用して、大都市地域等との交流活動を促進し、地域の活性化と豊かな生活の実現を図っていくことが求められている。

地域内各市町においては、「かにカニツアー」等に見られるように、様々な交流活動を展開し、京阪神大都市地域等からの集客に努めてきたところであるが、地域全体としてうまく連携し総合的な力を発揮するという点に不十分さを残している。

このため、本調査は、広域及び地域の両面から課題の整理を行い、「観光・交流地域」としての今後のあり方を検討しつつ、交通ネットワーク整備の方向や施策案の検討を行なうことを目的として取り組まれた。

調査の推進にあたっては、京都経済同友会北部部会の中に「北部地域交通問題研究会」を設置し、京都大学工学部中川大助教授のアドバイスを受けながら、平成15年度から16年度にかけて、検討を進めることとした。

また、平成15年度には、京都府知事を招いたフォーラムを企画・実施したが、あいにく鳥インフルエンザが発生した関係で、知事の参画を得ることはできなかったが、奥原商工部長(当時)をお招きして開催することができた。

本報告書は、上記の研究会での諸検討やフォーラムでの諸議論を踏まえて、要点を取りまとめたものである。

この提言を参考に、地元の関係機関や関係者の方々が中心となり、京都北部地域の活性化と交通問題の改善が進んでいくことを念願して止まない。京都経済同友会北部部会は、その一員として、微力ではあるが、努力を続ける所存である。

平成17年 3月

社団法人 京都経済同友会
北部部会長 今井 一雄

京都北部地域の交通対策検討調査報告書目次

はじめに

I. 現況と課題	1
I-1. 広域交通ネットワーク	1
1. 鉄道	1
2. 高速バス	2
3. 高速道路	3
I-2. 地域内交通ネットワーク	5
1. 路線バス	5
2. 観光バス	6
3. 海上交通	10
4. タクシー・レンタカー	10
I-3. 地域内の主要な観光・交流拠点	12
1. 地域内の主要な観光・交流拠点の分布状況	12
2. 観光入り込み客	12
II. 交通ネットワーク整備の検討	17
II-1. 基本戦略	17
II-2. 広域交通ネットワークの強化	19
1. 広域交通基盤の整備促進	19
2. 利用者増のための誘客システムの開発	19
3. 特別誘客列車の運行企画	20
II-3. 地域内交通ネットワークの強化	21
1. 交通結節機能の強化	21
2. ユニークな交通機関の導入	22
3. 魅力的なルート開発（モデルコース）	24
III. 交通ネットワーク強化のための関連施策の展開	26
1. 広域誘客力を強化するための地域魅力強化の促進	26
2. 多様な交流ネットワークの強化	27
3. 地域支援・PR組織の強化	27
4. 地域プロデュース力の強化	28
IV. 主要プロジェクトの戦略的展開	29
1. 初期段階の先導的主要プロジェクトの展開	29
2. 中期段階の主要プロジェクトの展開	30
付 京都北部地域の交通対策全体像	31-32
「京都府北部地域の交通問題研究会」構成メンバー	33

I. 現況と課題

I-1. 広域交通ネットワーク

1. 鉄道

- ・京都と北部地域は、JR西日本鉄道で結ばれており、地域内の一部は北近畿タンゴ鉄道と相互乗り入れしている。京都方面と当地域は、近年、特急が増便されて、下りが計18本、上りが計19本となり、かなり緊密に連携されてきている。
- ・大阪方面とは、上り・下りとも特急が各13本ずつとなり、こちらも連携は強化されてきている。
- ・具体的な内容は、下表のとおりである。ネットワークの特徴としては、京都と大阪方面からのルートが地域内の福知山でクロスして、舞鶴方面と豊岡方面とに分岐し、舞鶴・宮津・豊岡間、福知山・宮津間は北近畿タンゴ鉄道で結ばれるというネットワークが形成されている。
- ・課題点としては、大都市方面からの終着時間と地域内から大都市方面への終発時間が早いことが上げられる。例えば、宮津から京都市行き最終特急は、宮津発18時45分のはしだて8号であり、大阪行き最終特急は、宮津発16時40分のタンゴエクスプローラー4号である。
- ・また、舞鶴から京都市行き最終特急は、東舞鶴発18時10分のタンゴディスカバリー4号であり、大阪方面最終特急は、東舞鶴発17時06分のまいづる10号で綾部まで行き、綾部で普通車に乗り換えて福知山まで行き、福知山発18時06分発の北近畿18号で大阪に向かうということになる。
- ・当地域の交通結節点となっている福知山でも京都市行き最終特急は、福知山発19時14分のはしだて8号か22時58分発の寝台特急出雲、大阪行き最終特急は、福知山発19時17分の北近畿20号である。
- ・これらのことから明らかなように、大都市方面から当地域を訪れた人々が帰る折に、最終特急の時間が少し早すぎるという問題が残されているのであるが、この問題を解消していくには、いわゆる需要と供給の問題をクリアしていく必要がある。つまり、さらに遅い時間帯の特急列車を運行しても乗客が確保できる見通しを、地域内でつくり出しにくい限り、それは難しいということである。
- ・したがって、交通ネットワークを充実すればよいという単純な問題ではなく、利用者を如何に増やしていくか、そのための地域内への誘客をどのようにしていくのかという、いわゆる地域振興に係る問題である。この問題に正面から取り組んでいく限り、広域交通ネットワークのこれ以上の充実は難しい局面を迎えているといえることができる。

●鉄道（京都～福知山～北近畿）（特急のみ、除く季節列車）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
京都→福知山→北近畿 (うち→福知山) (うち→福知山→宮津) (うち→福知山→豊岡・城崎)	11 本 (4 本) (4 本) (3 本)	08.58 09.25 11.25	20.43 20.27 18.39	特たんば 特はしだて、タンゴ 特きのさき(終着 福知山) 特まいづる、タンゴ
京都→綾部→舞鶴	7 本	08.58	21.59	
宮津→福知山→京都 (うち宮津→福知山→京都) (うち北近畿→福知山→京都) (うち福知山→京都)	13 本 (4 本) (6 本) (3 本)	7.07 8.41 9.50	20.36 0.27 19.54	特はしだて 特きのさき、出雲 特たんば
宮津・舞鶴→綾部→京都 (うち宮津→舞鶴→京都) (うち舞鶴→綾部→京都)	6 本 (2 本) (4 本)	6.58 7.12	17.53 17.53	特タンゴディスカバリー 特まいづる

●鉄道（大阪～福知山～北近畿）（特急のみ、除く季節列車）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
大阪→福知山→北近畿 (うち→福知山→宮津) (うち→福知山→豊岡・城崎)	13 本 (3 本) (10 本)	11.04 08.12	22.20 23.22	終着 福知山
宮津→福知山→大阪 (うち宮津→大阪) (うち福知山→大阪)	13 本 (3 本) (11 本)	8.04 6.00	10.20 19.17	

2. 高速バス

- ・大都市と当地域を結ぶもう一つの交通としてバス交通がある。北部地域へは、丹後海陸交通バスや京都交通バス等が主要な広域交通機関としての役割を果たしている。
- ・丹後海陸交通バスについては、京都や大阪との間に高速バスを運行しており、京都方面は往復各1便、大阪方面は往復各2便となっている。また、城崎から天橋立に来るバスも、夕方の1便だけだが存在する。
- ・当地域には、これら以外に京都交通のバスも乗り入れているし、非定期的には数多くの観光バスが乗り入れている。「かにカニツアー」には、チャーターバスも導入されている。

●高速バス（大阪～宮津）（丹後海陸交通）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
大阪→宮津	2 本	09.50 17.30	12.50 20.30	
宮津→大阪	2 本	07.10 16.00	10.10 19.00	

●高速バス（京都～宮津～間人）（丹後海陸交通）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
京都→間人	1 本	17.30	20.51	
間人→京都	1 本	07.25	10.53	

●広域バス（城崎→天橋立）（丹後海陸交通）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
城崎－大宮－ 天橋立	1 本	16.10	17.50	

3. 高速道路

- ・京都や大阪方面と当地域を結ぶ高速道路については、京都縦貫自動車道と近畿自動車道舞鶴若狭自動車道が整備されてきている。
- ・これらのうち京都縦貫自動車道は、京都～丹波間、綾部～宮津間が開通しているが、中間の丹波～綾部間の整備は今しばらくかかりそうである。
- ・近畿自動車道の方は、大阪から舞鶴を経て小浜までの区間が開通し、当地域と大阪方面との連絡は良好なものになっている。
- ・これら以外に、京都縦貫自動車道の延長路線として、宮津から兵庫県の豊岡を経て鳥取方面に抜ける鳥取豊岡宮津自動車道も計画されている。
- ・京都縦貫自動車道の未整備区間の整備と近畿自動車道舞鶴若狭自動車道の小浜敦賀間の整備、さらには鳥取豊岡宮津自動車道の整備が行われることになると、当地域と大都市及び周辺地域との広域自動車交通ネットワークがほぼ完成することとなるが、現在はまだその途上にある。

●高速道路

路 線 名	区 間	備 考
京都縦貫自動車道	京都－丹波間開通 綾部－宮津間開通	丹波－綾部間が未開通
近畿自動車道・舞鶴若狭 自動車道	大阪－福知山－綾部－ 舞鶴－小浜開通	
鳥取豊岡宮津自動車道	宮津－豊岡－鳥取間未 開通	全線未開通

I－2. 地域内交通ネットワーク

1. 路線バス

- ・地域内の主な公共交通は、鉄道（ＪＲと北近畿タンゴ鉄道）とバスが担っており、タクシーや船がそれらを補完している。それらの中でも路線型の公共交通として大きな役割を果たしているのが「丹海バス」である。
- ・丹海バスの運行経路は、京都北部地域のとりわけ丹後半島地域を網羅しており、地域住民の重要な足としての役割を担っている。
- ・運行本数の多い路線は、宮津～岩滝～峰山、宮津～伊根～経ヶ岬、経ヶ岬～間人～網野～峰山、福知山～与謝～岩滝～傘松ケーブル下間等で、早朝から夕方、あるいは夜間にかけて運行されている。

●宮津～岩滝～峰山

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
宮津－峰山	9 本	7.10	19.31	宮津駅発、峰山駅着
峰山－宮津	13 本	6.30	18.36	峰山駅発、宮津駅着

（注）ただし、一部は休日運休

●宮津～伊根～経ヶ岬

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
宮津－伊根	13 本	7.32	20.28	宮津駅発、伊根役場着
宮津－経ヶ岬	4 本	9.29	15.26	宮津駅発、経ヶ岬着
伊根－宮津	13 本	5.54	18.36	伊根役場発、宮津駅着
経ヶ岬－宮津	4 本	12.08	17.20	経ヶ岬発、宮津駅着

（注）ただし、一部は休日運休

●経ヶ岬～間人～網野～峰山

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
経ヶ岬－間人 －網野－峰山	8 本	6.10	18.51	
峰山－間人－ 網野－峰山	3 本	8.18	18.09	
峰山－間人	9 本	7.18	20.30	
間人－峰山	8 本	5.35	17.49	
峰山－網野－ 間人－峰山	4 本	8.00	18.47	
峰山－網野－ 間人－経ヶ岬	7 本	6.36	19.36	

●福知山～与謝～岩滝～傘松ケーブル下

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
福知山－与謝 －岩滝－傘松	5 本	9.09	19.22	始発 福知山駅前
与謝－傘松	4 本	6.50	15.54	
傘松－岩滝－ 与謝－福知山	5 本	6.25	17.09	終着 福知山駅前
傘松－与謝	4 本	10.35	18.24	

●その他の路線（丹海バス）

- ・ 弥栄～丹後あじわいの郷～網野（往 7 本、復 6 本）
- ・ 峰山～久美浜（往 4 本、復 5 本）
- ・ 峰山～大宮～与謝の海病院（往 4 本、復 5 本）
- ・ 峰山～大宮～延利（往 3 本、復 3 本）
- ・ 宮津～ロイヤルホテル～田井（往 6 本、復 6 本）
- ・ 日置～世屋高原（往 7 本、復 7 本）
- ・ 奥波見～波見～公民館前（往 2 本、復 4 本）
- ・ 田原～日ヶ谷～田原（往 2 本、復 4 本）
- ・ 日出小坪～筒川～本庄上（往 1 本、復 1 本）

2. 観光バス

- ・ バス交通による観光については、外部から乗り入れた観光バスで回るか、丹後半島めぐりの定期観光バスを利用するか、あるいは通常の路線バスを利用することとなるが、地域内の定期観光バスは、丹後半島めぐりの往復各 1 便のみとなっている。

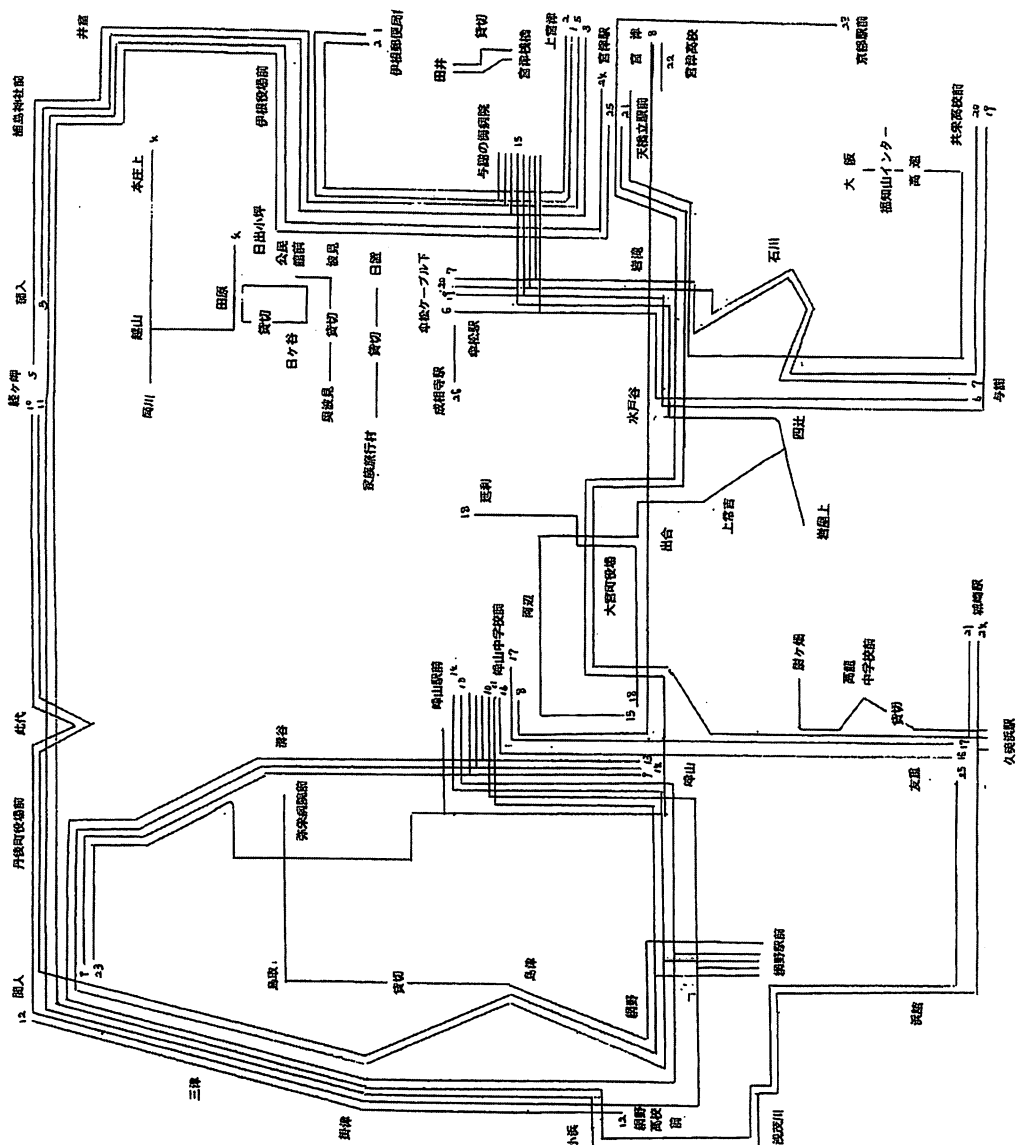
●定期観光バス（北近畿丹後半島めぐり）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
宮津－伊根－ 網野－城崎	1 本	8.45	15.52	宮津駅発、城崎駅着
久美浜－伊根 －天橋立	1 本	10.00	16.06	久美浜駅発、天橋立駅着

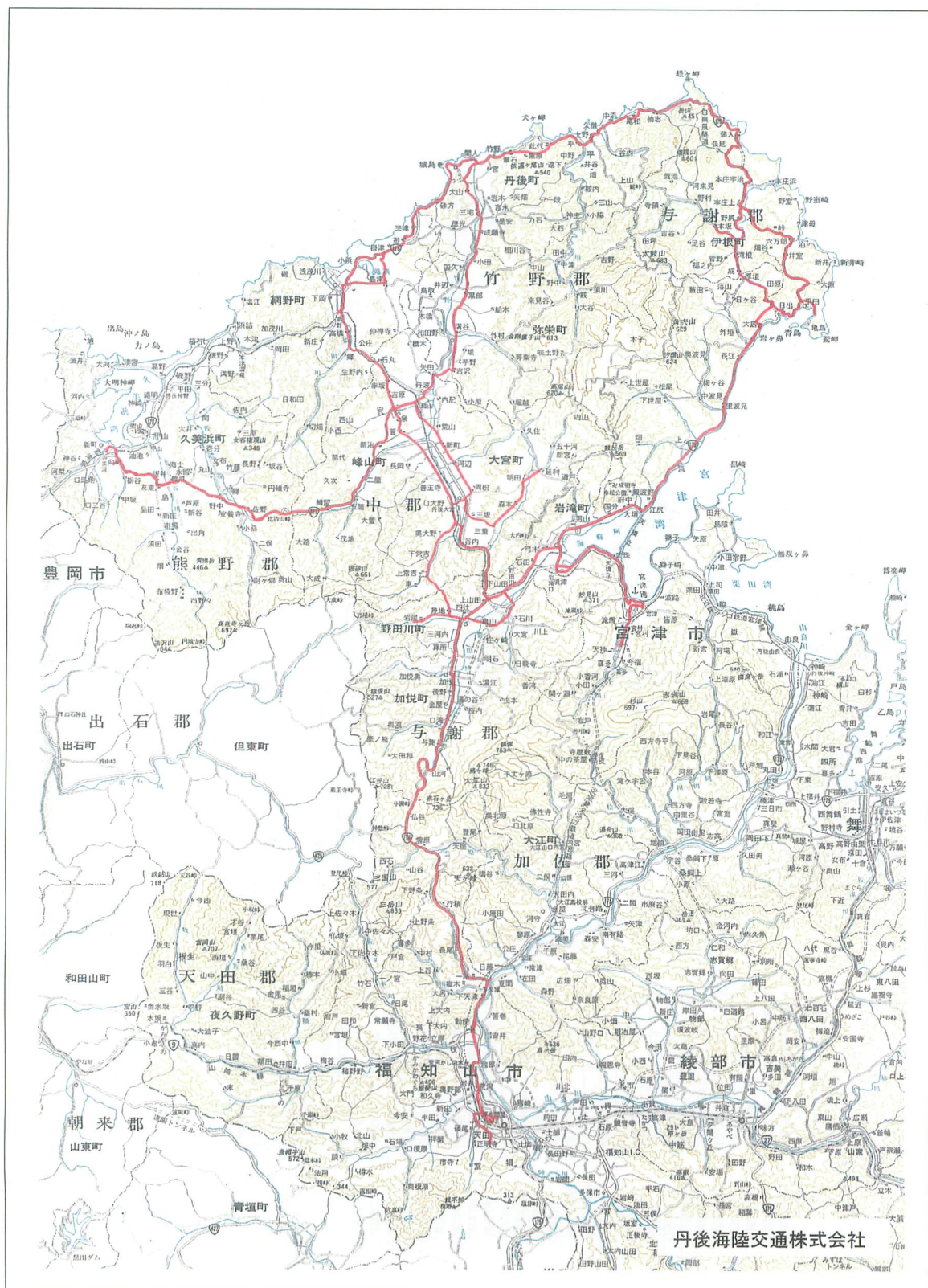
□バス運行図（丹後海陸交通）

運行系統圖

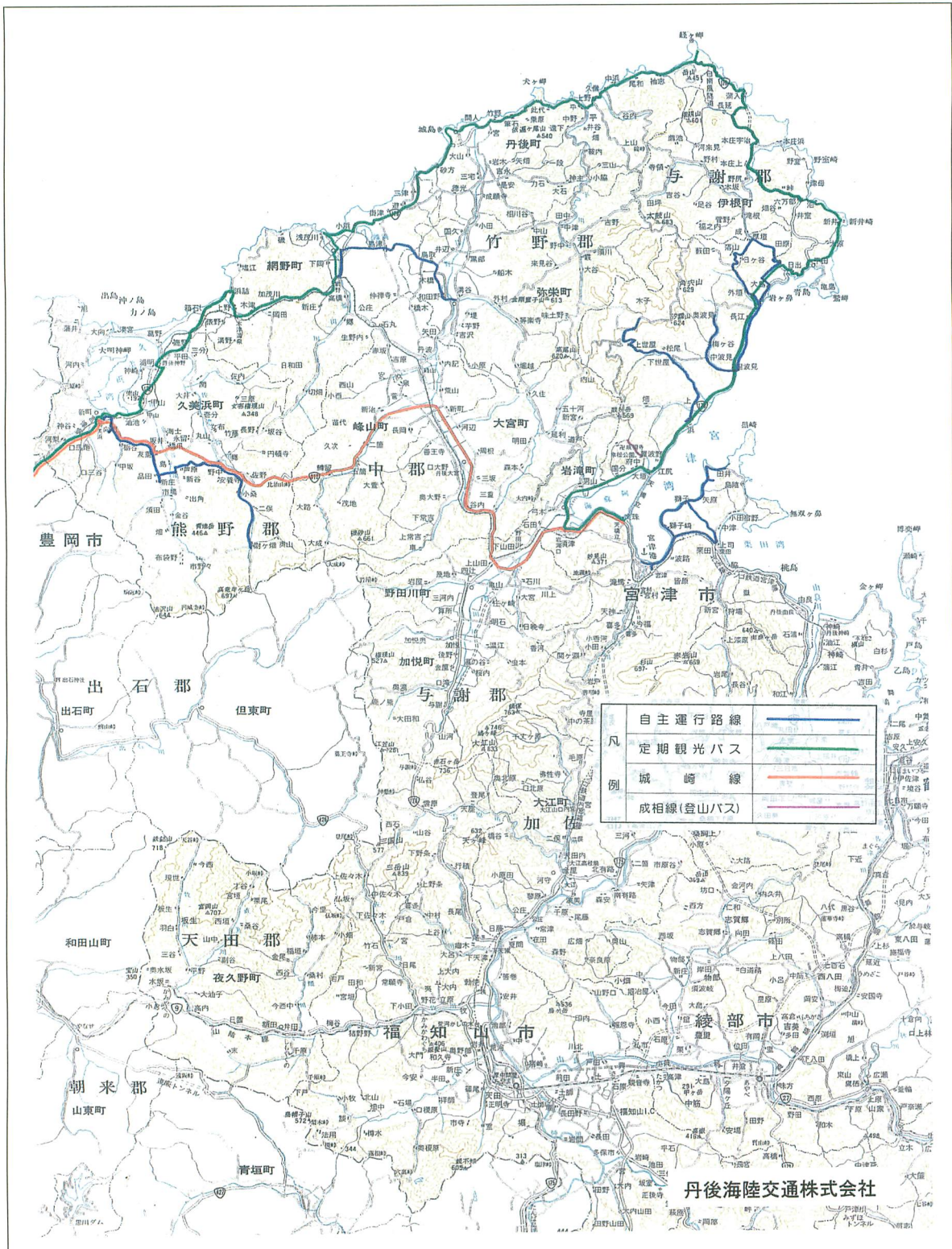
15年9月1日改正

[illegible]

□バス路線図



口バス路線図（自主運行路線、定期観光バス、城崎線等）



3. 海上交通

- ・地域内交通のもう1つに海上交通がある。全て観光船で、宮津・天橋立と一の宮とを結ぶ航路と伊根湾めぐりの2つのルートがある。
- ・宮津・天橋立と一の宮とを結ぶルートは、天橋立～一の宮間が主たるもので、海上から天橋立を観る目玉商品となっている。
- ・伊那湾めぐりは、舟屋の里として有名な伊根の漁村集落を海上から眺めるもので、人気がある。

●一の宮航路（観光船）

区 間	本数/日	始発	終着	備 考
宮津－天橋立 一の宮	6 本	8.20	17.02	
天橋立一の宮	24 本	9.00	17.42	
一の宮－天橋 立－宮津	6 本	7.53	17.07	
一の宮－天橋 立	25 本	8.45	18.27	

（注）ただし夏季限定便を含む

●伊根湾めぐり

出 航 時 刻	運 航 期 間
9 時～16 時 ・ 毎時 00 分、30 分発 （所要 30 分）	3 月 1 日～翌年 1 月 1 5 日の間は毎日 運航 1 月 1 6 日～2 月末日の間は、日曜・祝 日のみ運航 （ただし、団体は予約により運航）

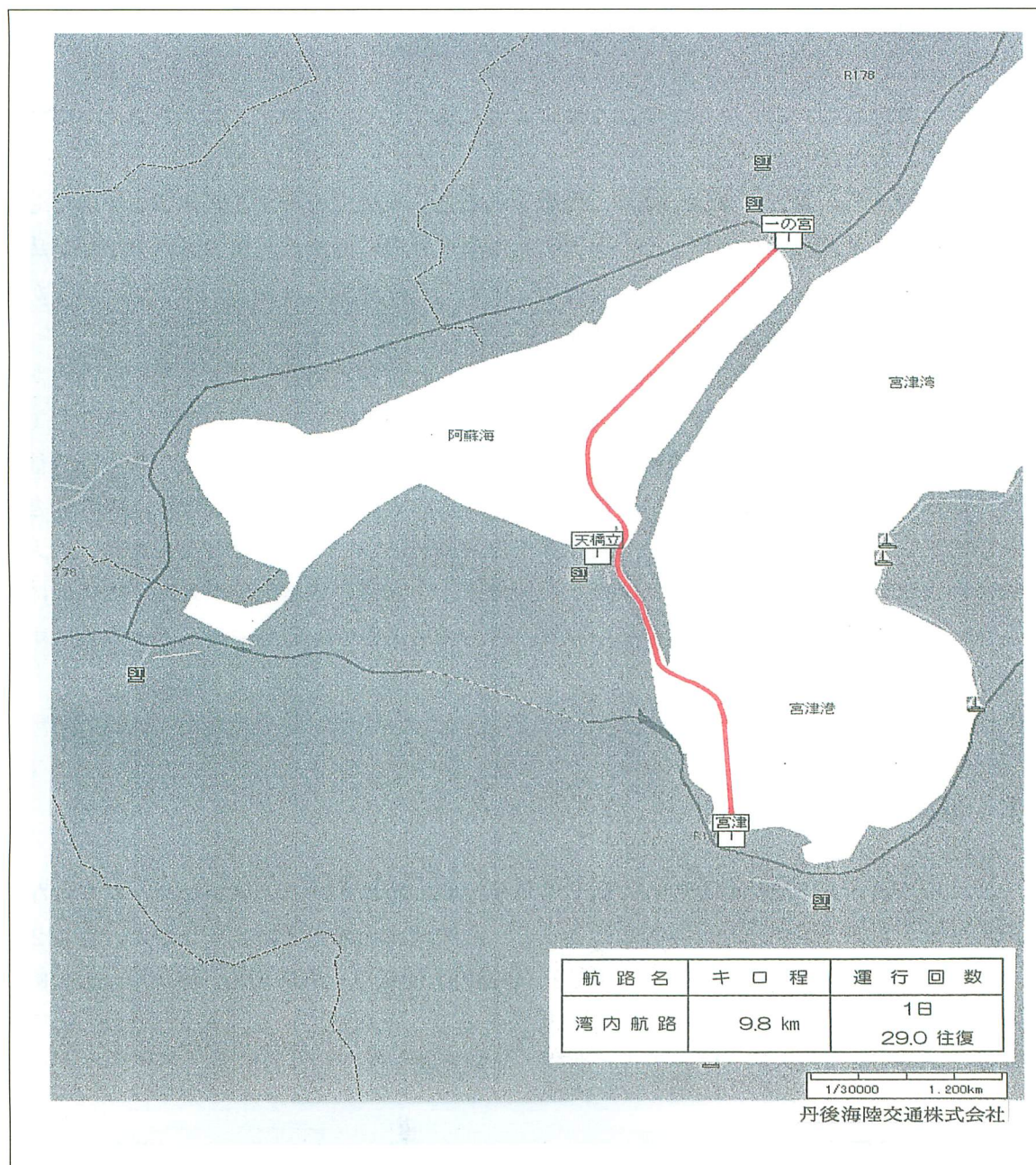
4. タクシー・レンタカー

地域内には、全域的には日本交通、京都交通等のタクシーが、主要駅前等に配備されている。また、地域によってはその他の会社のタクシーの配備も見られる。

いずれも主要駅前等のタクシー乗り場か、呼び出しによる乗降が主なもので、いわゆる「流し」は基本的に存在しない。

レンタカーについては、舞鶴（東・西舞鶴）に 5 社、天橋立駅に 1 社が立地し、営業している。

□航路図



I－3. 地域内の主要な観光・交流拠点

1. 地域内の主要な観光・交流拠点の分布状況

京都北部地域は、京丹後市が平成16年4月に誕生して、4市13町から5市7町で構成されることとなった。

これらのうち、観光・交流の観点で地域をみると、天橋立を有する宮津市を中心としながら丹後半島東部地域があり、その西側に日本海の外海に面する丹後半島西部地域が広がっている。宮津市の東側沿岸域には舞鶴市、南側の内陸地域には福知山市や綾部市等が存在し、それぞれに圏域を持ちながら展開している。

そうした配置関係の中で、観光・交流拠点の分布状況をみると、日本三景の一つである天橋立と丹後国分寺跡や丹後一の宮である籠神社等のある歴史的な周辺地区、港まちであり旧城下町でもある宮津及び舞鶴の市街地、内陸の城下町福知山の市街地、広大な丹後半島内に点在する舟屋集落で有名な伊根や美しい海岸線を持つ経ヶ岬周辺地区、鳴き砂と夕日等で有名な夕日ヶ浦温泉周辺から丹後琴引温泉周辺にかけての沿岸域温泉地区、巨大古墳がある歴史ロマンの拠点である網野・丹後地区、小天橋のある久美浜地区、内陸部にある丹後あじわいの郷、スイス村や風の学校、風力発電所等のある弥栄地区等々の魅力ポイントが存在している。

2. 観光入り込み客

これらの観光・交流拠点を中心に観光客等が地域に訪れている。細かなデータではないが、平成14年の観光入り込み客数をみると、北部地域全域では約890万人、うち2市11町（舞鶴市、宮津市、大江町、加悦町、岩滝町、伊根町、野田川町、峰山町、大宮町、網野町、丹後町）（現在は3市5町）では約780万人となっている。また、それらのうち天橋立を持つ宮津市は約270万人であり、北部地域全体の約30%を占めている。

□観光入込客数

(平成15年)

地 域		観光入込客数 (千人)	比 率 (%)
北 部 地 域		8,763,093	100.0
	丹後（3市5町）	7,731,113	88.2
	宮津市	2,687,000	30.6

(注) 上記の丹後3市5町は、舞鶴市、宮津市、京丹後市、大江町、加悦町、岩滝町、伊根町、野田川町

(京都府統計資料)

□北部地域の主な観光・交流拠点と観光資源

地 域	項 目	分 野	観光・交流拠点、観光資源	備 考
丹後東部 地域	文化	歴史遺跡	加悦町古墳公園（国指定史跡の蛭子山古墳と作山古墳の復元）、大風呂南墳墓群（ガラス釧）、丹後国分寺跡、	
		古社寺	籠神社、成相寺、智恩寺文殊堂等	
		城下町	宮津城下町遺構	
		港町	伊根舟屋集落群	
		伝説等	浦島太郎、徐福、乙姫、安寿と厨子王	
		文化施設等	みやづ歴史の館、三上家、カトリック宮津教会、加悦工芸の里等	
	自然景観 等	自然	天橋立、大江山、由良川等	
		海水浴場	田井、丹後由良、府中、天橋立、本庄浜、泊等	
		ハイキング	大江山ハイキングコース	
	温泉		天橋立温泉（文殊地区）、天橋立温泉・知恵の湯、宮津温泉ピント湯、宮津羽衣温泉、湯らゆら温泉郷、成相観音温泉、クワハウス岩滝、岩滝温泉、奥伊根温泉、伊根温泉リゾート等	
	産業	農林	世屋みそ、天橋立ワイン等	
		水産	ズワイガニ、寒ぶり、いわしのオイルサーデン・ころ煮、かれい等の魚の干物	
		物産	道の駅・舟屋の里公園 道の駅・シルクのまちかや、リフレかやの里	
		体験等	丹後海と星の見える丘公園 棚田等での農業体験、漁業体験	
丹後西部 地域	文化	巨大古墳	銚子山古墳、神明山古墳、蛭子山古墳	国史跡
		伝説等	丹後七姫（静御前、羽衣天女、小野小町、細川ガラシャ、間人皇后）等	安寿姫は宮津・舞鶴 乙姫は伊根
		文化施設	丹後ちりめん歴史館、琴引鳴き砂文化館、豪商稲葉本家等	
	自然景観 等	海岸線	丹後半島海岸線（丹後松島、経ヶ岬灯台、屏風岩）、鳴き砂の浜、小天橋、風力発電所等	
		海水浴場	袖志浜、中浜、九僧、高嶋、平、竹野、間人後ヶ浜、間人砂方、掛津、八丁浜、浜詰、箱石、葛野、小天橋、浦井等	
	温泉		夕日が浦温泉・浜詰温泉、木津温泉、浅茂川温泉・静の湯、浅茂川浦島温泉、八丁浜小浜温泉、丹後はなれ湖温泉、鳴き砂温泉、丹後琴引温泉、おおみや小町温泉、久美浜温泉、久美浜シーサイド温泉、小天橋温泉、弥栄あしぎぬ温泉、宇川温泉よし野の里、丹後温泉、鴻の鶴温泉	
	産業	水産	ズワイガニ、寒ぶり、カキ等	
		伝統産業	丹後ちりめん	
		物産	農業公園・丹後あじわいの郷 道の駅・てんきてんき丹後	
		体験等	スイス村、風のがっこう京都、大宮ふれあい工房、漁業体験	

地 域	項 目	分 野	観光・交流拠点、観光資源	備 考
舞鶴地域	文化	古社寺	金剛院	
		城下町	田辺城跡と城下町遺構	
		港町	赤れんが倉庫群	
		伝説等	安寿と厨子王（安寿姫塚）	
		文化施設	赤れんが博物館、舞鶴引揚記念館、田辺城資料館	
	自然景観等	自然	五老ヶ岳からの舞鶴湾の眺望	
		海水浴場	竜宮浜、野原、神埼等	
		ハイキング	五老ヶ岳ハイキングコース、青葉山ハイキングコース、大浦森林公園	
	温泉		ふじつ温泉、たかお温泉・光の湯	
福知山・綾部地域	文化	物産	舞鶴港とれとれセンター、舞鶴親海公園	
		古社寺	元伊勢神宮	
		城下町	福知山城と城下町遺構	
	自然景観等	伝説等	酒呑童子	
		自然	大江山・雲海	
		ハイキング	大江山ハイキングコース	
	温泉		福知山温泉、綾部温泉・仁王の湯	
	産業	物産	黒谷和紙、大江和紙、鬼饅頭等	

□丹後地域のおまつり歳時記

(平成 17 年 3 月末現在)

時 期			おまつり	地 域			
				丹後東部	丹後西部	舞鶴地域	福知山・綾部地域
春	4 月	9~10 日 上旬 上旬 上旬 中旬・日 中旬 中旬 下旬 24 日 25 日 最終・土 29 日	金毘羅神社春祭り 福知山お城まつり 吉田キャンドルイルミネーション 滝上公園まつり 雲岩公園つつじ祭 滝の千年ツバキまつり 朝妻祭 網野ちりめん祭 つつじまつり 元伊勢一宮龍神社葵祭 筒川祭 加悦谷まつり つつじまつり	宮津市 野田川町 加悦町 伊根町 宮津市 宮津市 伊根町 伊根町	京丹後市 京丹後市 加悦・野田川町	舞鶴市	福知山市
	5 月	1 日 2~3 日 3~4 日 4 日 4 日 8 日 13~15 日 下旬・日	岩滝まつり 加悦SLまつり 三河内曳山祭 舞鶴つつじまつり 大江山双峰まつり 松尾寺・仏舞 宮津まつり まいづる田辺城まつり	岩滝町 加悦町 野田川町 宮津市		舞鶴市 舞鶴市 舞鶴市	大江町
	6 月	第 1・日 中旬 中~7 上 下旬	はだしのコンサート あじさいまつり 舞鶴自然文化園アジサイ展 ドラゴンカヌー市民大会	加悦町	京丹後市 京丹後市	舞鶴市	
夏	7 月	9~10 日 中旬 中旬 中旬 24 日 25 日 最終土日 第 4 土 27~28 日 30 日 最終・日 31~8/1	金毘羅神社夏祭り 宮津天橋立「炎の架け橋」 やさか納涼祭 安寿姫塚キャンドルイルミネーション 文殊堂出船祭 間人みなと祭り みなと舞鶴ちゃったまつり あやべ水無月まつり 伊根祭 水無月祭 金引の滝火祭り 由良観光祭	宮津市 宮津市 伊根町 宮津市 宮津市 伊根町	京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市	舞鶴市 舞鶴市	綾部市
	8 月	6~7 日 9 日 上旬 上旬 上旬・日 上旬 14 日 14 日 14~16 日 14~16 日 15 日 15 日 15 日 15 日 15 日 16 日 16 日 中旬 中・下旬 20 日 24~25 下旬 下旬・日 最終・日	本庄祭 千日会観光祭 赤煉瓦サマージャズ in 舞鶴 フェスタ「飛天」in 京丹後 ドラゴンカヌー選手権大会 ひまわり 15 万本 城屋の揚松明 竹野川水系万灯 宮津盆踊り大会 福知山ドッコイセまつり・花火大会 小橋の精霊船 市民総おどり大会 愛宕の火祭 浜詰夕日ヶ浦納涼花火大会 宮津灯籠流し花火大会 吉原の万灯 日本三景天橋立オープン ウオータースイムレース 野田川万燈 おべっさん 福知山ドッコイセまつり FUNAYAの里ベイエリアフェスティバル いかり高原まつり かや大江山登山マラソン	伊根町 野田川町 宮津市 宮津市 伊根町 宮津市 宮津市 野田川町 伊根町 伊根町 加悦町	京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市	舞鶴市 舞鶴市 舞鶴市	福知山市 福知山市

(つづき)

時 期			おまつり	地 域			
				丹後東部	丹後西部	舞鶴地域	福知山・綾部地域
	9 月	中旬 中旬 最終・日	パンプキンフェスティバル 丹後 100km ウルトラマラソン 丹後王国古代まつり	加悦町	京丹後市 京丹後市		
秋	10 月	中旬 中旬 最終・日 上旬 中旬 中旬 中旬 下旬・日	まいづる魚まつり 神宮太刀宮祭 赤れんがフェスタ 大宮売神社例祭 工芸フェア 金刀比羅神社秋祭 あみの八丁浜ロードレース大会 大内峠紅葉まつり ちりめん街道まるごとミュージアム	加悦町 加悦町 岩滝町 加悦町	京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市	舞鶴市 舞鶴市	
	11 月	上旬 上旬 上旬 上旬 中旬 中旬 中旬 中旬 23 日 下旬 下旬	生き生きフェスタ りんごまつり まるかじりまつり 筒川そばまつり 峰山産業まつり 小町ろまん全国短歌大会 金剛院キャンドルイルミネーション ふる里ジャンジャン祭 伊根町産業祭 福知山マラソン てんきてんき村産業まつり ふるさとフェア「加悦町農業祭」	加悦町 伊根町 伊根町 加悦町	京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市 京丹後市	舞鶴市	福知山市
	12 月	1 日~2 月 第 1・日 中旬 中旬	宮津天橋立冬のホカホカまつり カキ・魚まつり 大江スキー場開き スイス村スキー場開き	宮津市	京丹後市 京丹後市		大江町
	1 月	10 日 下旬	文殊堂十日えびす 舟屋の里ほっかほっか祭	宮津市 伊根町			
	2 月	中旬 最終・日	スイス村スキー場開き 天橋立寒中てんころ舟競争	宮津市	京丹後市		
冬	3 月	17 日 下旬 下旬~4 月 上旬	浦嶋神社延年祭 斎宮初午祭 舞鶴自然文化園ツバキ展	伊根町	京丹後市	舞鶴市	

Ⅱ．交通ネットワーク整備の検討

Ⅱ－１．基本戦略

根幹となる交通基盤の整備促進

- ・京都北部地域と京阪神大都市地域とを結ぶ根幹となる広域交通基盤については、交通ネットワーク整備の基本をなすものであり、重要課題として位置づけ、整備促進を図る。
- ・特に、京都と当地域とを連結する京都縦貫自動車道については、未整備区間として残っている丹波～綾部間の整備促進を最重要課題として位置づけ、関係機関への働きかけを重視する。
- ・広域鉄道網については、通常の交通需要だけではこれ以上の強化は困難な面があるため、下記の観光交流需要の喚起策と連携しながら、段階的な整備促進を検討していくものとする。

観光交流施策と連携した交通対策の推進

- ・北部地域の交通ネットワーク整備にあたっては、地域外からの誘客を含めた、いわゆる観光交流施策と連携した交通需要増加対策とセットで交通ネットワークの強化策を検討する。
- ・この検討は、地域内関係者が中心になって戦略を練ることを基本とすべきであるが、特に広域交通の改善に関連する対策については、直接の関係者でもあるＪＲ等とジョイントして検討を進めたり、事業化を図っていくことが有力であるし、その他の関係機関の協力を取り付けていく必要もある。

先導的プロジェクトの試行・実行

- ・交通ネットワークの強化策を検討し、いくつかの有力案が出されたとしても、それをそのまま放置していたのでは、問題解決は先延ばしになるだけであり、事態は一向に改善していかない。
- ・それを回避するには、当面実現可能な企画案を、社会実験的に試行してみたり、具体的な事業推進組織を立ち上げたりするような、積極的な取り組みが必要と考える。
- ・このため、今回の交通対策は、主要プロジェクトを明らかにするとともに、段階的・戦略的な整備を考慮し、その中で今すぐにでもやろうと思えば取り組める施策や交通問題解決上少し時間が掛かっても今から手を付けていくべき施策等を明らかにすることとした。

- ・また、すぐにでもやれる取組みの中で重点的な施策については、先導的プロジェクトとして位置づけ、具体的なアクションに結び付けていくこととする。

Ⅱ－２．広域交通ネットワークの強化

１．広域交通基盤の整備・充実

京都縦貫自動車道の早期整備の促進

○未整備区間の整備促進

- ・京都縦貫自動車道の未整備区間である丹波～綾部間の早期整備に向けて、京都北部地域と中部地域とが連携しながら整備促進運動を展開する。

鳥取豊岡宮津自動車道の整備の促進

○整備の促進

- ・宮津市から丹後半島を貫いて豊岡・鳥取方面に向かう自動車専用道について、関係諸機関に働きかけながら早期整備を促進する。

鉄道の運行時間の延長等

○北部地域拠点駅の終発時間の延長

- ・北部地域の交通結節拠点である福知山駅からの特急列車の終発時間を、少なくとも現在の午後７時台から１時間程度遅くして、午後８時台位まで延長してもらえるよう、関係機関に働きかける。

○大都市からの始発時間の早期化

- ・京都や大阪から北部地域に向かう特急列車の始発時間を、少しでも早めるよう、関係機関に働きかける。

２．利用者増のための広域誘客システムの開発

丹後周遊チケット」の創設・充実

○ＪＲ、ＫＴＲ、丹後海陸交通等の共同事業として実施

- ・「天橋立フリーパス」を普及するとともに、路線図や時刻表等を盛り込む等の内容の充実を図るよう、関係機関に要請する。
- ・丹後半島を巡る「丹後ぐるりんパス」（仮称）（ＪＲ・ＫＴＲ＋周遊バスのセットパス）について、実現性の検討を関係機関に働きかける。
- ・上記フリーパスに「交通＋宿泊」型の特別割引タイプを検討してもらうよう、関係

機関に要請する。

地域魅力を売り物にした 企画型ツアー」の開発

○「丹後キャンペーン事業」として実施

- ・「〇〇シェフと行く丹後の食を楽しむツアー」、「〇〇歴史学者、または歴史小説家と行く丹後王国をめぐるツアー」等の企画型ツアーについて、企画立案し、ＪＲや旅行エージェント等の協力を得ながら実施していくよう努める。
- ・特に、北部地域の客数が伸び悩む春・秋季対策として位置づけ、企画・実施する。
- ・地元の観光協会等が自主事業として、京阪神大都市からチャーターバスを運行（「かにカニバスツアー」のような）する方法等についても研究し、可能であれば積極的に推進するよう努める。

3. 特別誘客列車の運行企画

SL北近畿号（仮称）の運行にむけての具体的検討」

○「SL北近畿号（仮称）運行検討会」の発足

- ・京都から北部地域に向かう特別観光列車として、京都市の梅小路機関車庫に保管されているSLの運行を企画し、実現化に向けての検討を具体的に開始する。
- ・検討に当たっては、ＪＲをはじめとする関係機関の協力が不可欠であることから、どのようにすれば実現化できるのか、課題点はどうすれば克服できるのか、等についてサゼッションを得ながら、検討を進める。
- ・このプロジェクトは、早期に実現するというより、多少時間が掛かっても実現化にこぎつけるプロジェクトとして位置づけ、実現化に向けた検討組織をつくって、持続的な検討を進める。
- ・その検討の中では、例えば北部地域の著名な祭りに合せた運行企画を行う等、誘客力のある企画と併せた検討を行うよう努める。

Ⅱ－３．地域内交通ネットワークの強化

１．交通結節機能の強化

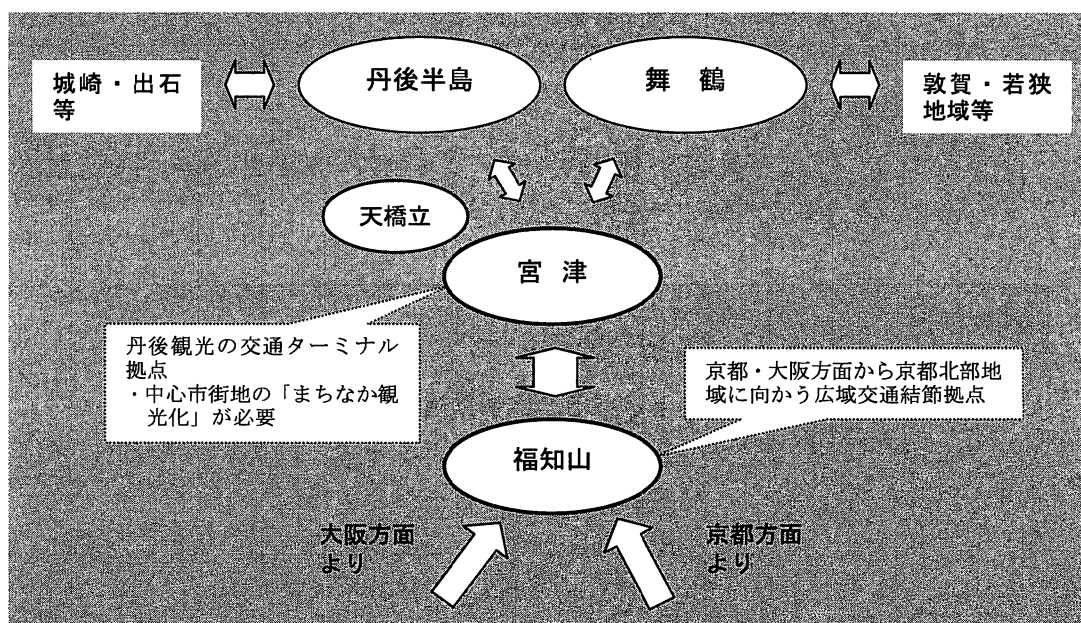
広域観光交通の結節拠点の強化

○福知山の広域交通結節拠点としての機能強化

- ・京都や大阪等から京都北部地域に向かう場合、特に鉄道による場合は、福知山が結節拠点となることから、とりあえず福知山までの交通輸送力の強化を推進し、ここを起点にして北部地域方面への輸送力を徐々に高めていくよう努める。

○丹後観光の交通ターミナル拠点の明確化と機能強化

- ・福知山から丹後方面への誘客を図る場合、丹後地域内の交通ターミナル拠点をＪＲ宮津駅とするのか天橋立駅とするのかを明確にしておくことも必要である。
- ・現状における観光駅としては天橋立駅と考えられるが、当駅周辺地区は面積に余裕がなく、広域交通ターミナルとしては弱点を持っている。このため、宮津の中心市街地の観光拠点化を促進することを前提とする必要があるが、宮津駅周辺地区を丹後観光のターミナル拠点として位置づけ、機能強化を検討していくことが有力と考えられる。
- ・観光交通ターミナル拠点としての機能強化については、鉄道とバス交通、タクシー、レンタカー、レンタサイクル等の多様な地域内交通機関、交通手段との有機的な連結が不可欠であることから、駅前広場の拡充整備と併せて、それら各種地域内交通機能の集積を図る。
- ・また、観光情報サービスについても、ここに行けば丹後観光のことなら何でも分かり、案内してもらえる、広域観光情報センターの整備が望まれる。



2. ユニークな交通機関の導入

独自の魅力を持つレトロバスの運行

○丹後海陸交通観光バス（ボンネットバス）の改善

- ・北部地域の主要な観光地を巡る地域内の交通機関として、観光客が思わず乗ってみたい魅力的なバスを導入する。
- ・丹後海陸交通が、最近導入したレトロ調のボンネットバス「丹後王国浪漫ス号」は、この狙いで導入されたものである。これの色に丹後らしさを出すとか、特別に目立つ色調にする等の工夫を加えることが望まれる。

* 観光地をめぐる特色あるバスの導入は、全国的にみるとあちこちで見受けられるようになっている。ボンネットバスはその代表的なものになっており、さらに特色を出す工夫が要る。ロンドンのダブルデッカーの特色ある形・色等は、大いに参考になる。

北近畿タンゴ鉄道の観光鉄道化

○北近畿タンゴ鉄道の観光交通手段としての再位置づけ

- ・北近畿丹後鉄道は、地域内の重要な移動交通手段であることは当然であるが、観光客にとっても重要な地域内移動手段ともなるものである。
- ・このような視点から、今一度あり方を検討し、観光交通手段としての魅力の向上を図るよう関係機関に働きかける。
- ・例えば、鉄道と地域バス交通とを有機的に結びつける方法や、「電車&ウォーク」を徹底的に宣伝する方法などが考えられる。

* 鉄道とバスとを有機的に結びつけて、新たな観光ルート開発を行った例としては、滋賀県湖北地域の取組みが参考になる。
* 「電車&ウォーク」は、JR等の鉄道事業者が、近年力を入れて取り組んでいる。

○車両の観光電車化

- ・車両についても、一般客利用使用ではなく、車両の一部を思い切って観光電車化し、デザインを一新する等の手を打つことが考えられる。

加悦鉄道の復元 運行

○特色ある地域内交通の決め手となる「加悦鉄道」の復元

- ・地域内交通の中により魅力あるものを導入することにより、地域内における観光移動が楽しくなり、誘客にも繋がることが期待される。
- ・こうした意味で、現在地元で検討されている「加悦鉄道」の復元運動は、きわめ

て魅力のある、また期待の持てる活動である。

- ・それは、保存されている加悦鉄道の機関車の修復と客車両の復元を図り、北近畿丹後鉄道の主要ルートでの運行を行おうとするもので、課題は山積のようであるが、実現にこぎつけたいプロジェクトである。

○加悦鉄道を復元するための組織体制の強化

- ・加悦鉄道機関車及び車両の修復・復元及び運行等に当たっては、地域内組織を強固なものにすることは勿論であるが、関係するＪＲ等の協力が不可欠であるし、サポーターも必要である。
- ・全国的な視点で成功事例を見ると、多くの鉄道マニア等のサポートを得て実現にこぎつけていることからわかるように、広域の関心のある人々の協力やサポート体制を是が非でも作り出していく必要がある。

シャトル型、デマント型交通機関の導入検討

○地域共同利用型シャトルバスの導入の検討

- ・地域内の主要な観光ポイントやホテル、旅館等を結ぶ交通手段として、共同利用型シャトルバス等の導入について検討を進める。

○地域共同利用型デマンドタクシーの導入の検討

- ・上記に加えて、要望・予約等に応じて相乗り型で運行する大型タクシー（１０人乗り）の導入等についても検討に値する。地域内のタクシー会社の協力を得ながら、実現化に向けた検討を進めていくことが期待される。

○海上におけるシャトル型、デマンド型観光交通機関の導入検討

- ・地域内の主要な観光港を結ぶシャトル型海上交通機関の導入について、関係機関と検討を行う。
- ・また、観光客の要望・予約等に応じて相乗り型で運行する海上タクシーの導入等についても検討を進める。

簡易な地域内移動機関の導入検討

○自走式の簡易交通機関導入の検討

- ・地域内での小回りのきく移動手段として、京都市で導入されている「チョロキュー」のような、１～２人乗りの簡易でユニークな交通機関について、導入の可能性を検討する。

3. 魅力的な観光ルート開発（モデルコース）

天橋立等を基点とした目玉商品となる「企画型ルート」の開発

○観光交通の主軸となるルート設定

- ・観光交通そのものではないが、魅力的な観光ルートを企画開発して、観光交通の主軸とする取組みも重要である。
- ・勿論、すでに開発された観光ルートは大事にする必要があることはいうまでもないが、さらに魅力的なルート開発について知恵を絞ることが求められている。

○地域観光協会等の企画事業として実施

- ・上記の「企画型観光ルート」開発は、地域を訪れる観光客のオプションツアーの目玉商品として企画開発されることが望まれる。
- ・また、陸上交通ばかりではなく、「伊根の舟屋」を訪ねる食事付きクルージング等の海上交通利用型のルート開発も重要な支店と考える。

多様なニーズに対応した魅力ルートの開発

○丹後広域観光組織による広域コースの企画開発

- ・丹後の歴史・自然・食等の多彩な資源を活用して、魅力満喫コースを企画開発する。四季折々の期間限定企画で、余り知られていない地域魅力に触れることのできる「ディープな旅」コースが企画開発されることが期待される。

ハイキングやまち歩きコースの充実・整備

○大江山を中心とするハイキングコースの整備・充実

- ・北部地域のシンボルともなっている大江山連峰は、縦走のできる登山コースとして知られている。この知名度と特色を活かして、地域内各地からアプローチできるよう、ハイキングコースの整備・充実を図る。

○まち歩きコースの整備・充実

- ・近年流行の「まち歩きコース」については、京都北部地域はまだ十分整備されていないことから、宮津や福知山、舞鶴等の歴史的市街地等を中心に環境整備を進め、魅力的な「まち歩きコース」を創出するよう努める。

□観光ルートの例示

1. 天橋立～伊根舟屋・経ヶ岬ルート

○陸上ルート

- ・宮津駅前・天橋立駅前～伊根舟屋

○海上ルート

- ・宮津港、天橋立港～伊根湾（オプションとして経ヶ岬）コース

2. 日本海港まち・「まち歩き」ルート

○宮津散策ルート

- ・旧城下町・港町散策コース

○舞鶴散策ルート

- ・旧城下町散策コース（西舞鶴）
- ・旧軍都散策コース（東舞鶴・赤レンガ博物館等）

3. 「丹後王国」探索ルート

○国指定「丹後三大古墳」をめぐるルート

- ・銚子山古墳～神明山古墳～加悦町古墳公園（蛭子山・作山古墳）コース（解説者付き）

○「元伊勢」神宮をめぐるルート

- ・元伊勢神宮（大江町）～籠神社（宮津市）コース

4. 「丹後七姫伝説」をめぐるルート

- 安寿姫（安寿姫塚・舞鶴市）― 安寿の里もみじ公園・姫塩汲みの地（宮津市由良）～乙姫（伊根町）～間人皇后（間人母子像・京丹後市丹後町）～静御前（静神社（京丹後市網野町）～細川ガラシャ（石碑・京丹後市弥栄町）～羽衣天女（乙女神社・京丹後市峰山町）～小野小町（小町塚、妙性寺（京丹後市・大宮町）

5. 「丹後味わい・舌鼓」ルート

○海の幸・舌鼓コース

- ・「かに満喫コース」「寒ぶり満喫コース」「カキ満喫コース」「魚の干物・燻製品満喫コース」等

○山の幸・舌鼓コース

- ・「筒川そば」と「山の芋」コース等

6. 大江山ハイキングルート

○大江山健康ハイキングコース

- ・気軽なハイキングコース、カントリーウオーグ

○大江山縦走コース

- ・健脚コース

Ⅲ. 交通ネットワーク強化のための関連施策の展開

1. 広域誘客力を強化するための地域魅力強化の促進

「日本海港まち」をイメージアップする魅力的な「まちなか観光拠点」の創生

- ・近畿圏の代表的な「日本海港町」は、西から、宮津、舞鶴、敦賀であり、それぞれに輝かしい歴史を持つ。
- ・全国的な視点で見ると、歴史的な港町は、観光拠点として脚光を浴びているところが少なくないが、近畿圏の日本海港町は、観光拠点としては今一つである。
- ・特に、宮津は、丹後半島という巨大な観光資源を背後に持つ拠点都市であるにも関わらず、持てる魅力をほとんどと言っていい位に発揮できていないように思われる。
- ・その潜在的な魅力を生かして、北部地域観光に新たな魅力を付加し、誘客力を強化するとともに、中心市街地を含むウォーターフロントの魅力化がうまくいくことになれば、「まち中散策者」が増え、観光滞在時間が拡大して、ひいては宿泊客の増大にも繋がり、天橋立等の宿泊拠点に好効果をもたらすことにもなる。
- ・宮津の中心市街地、ウォーターフロントの魅力的な整備が待たれるところである。

「伊根の舟屋」街区の魅力の向上

- ・全国的な視点で、北部地域の魅力ポイントを探すと、「伊根の舟屋」は、その知名度からいっても、魅力度からいっても、外すことができない。
- ・その魅力に更に磨きをかけることができれば、天橋立と対を成す魅力ポイントとして格好の観光ルートが形成される。
- ・伊根の舟屋は、現在伝統的建築物群としての指定が行われようとしており、「まちなみ環境整備事業」等の導入が行われて、より魅力的な舟屋街区が形成されることになると、誘客力は確実に増大する。

「丹後王国」をイメージアップする巨大古墳の修復整備の促進

- ・北部地域は、「丹後王国」論が出るほどの歴史文化の地であり、未だに歴史ロマンあふれる所として位置づけられている。
- ・その象徴的な建造物として、地域内に点在する巨大古墳群があり、銚子山古墳、神明山古墳、蛭子山古墳は、国指定の史跡になっている。
- ・地域内では、加悦町において、国指定史跡である蛭子山古墳と作山古墳を「加悦町古墳公園」として修復整備している。

- ・これと連動する形で、丹後半島北部の銚子山古墳か神明山古墳のいずれかが、修復整備されることになれば、「丹後王国」イメージはさらに鮮明になるものと思われる。

2. 多様な交流ネットワークの強化

日本海文化交流企画の検討・実施

- ・日本海地域は、我が国では最も古くより開けたところで、青森県の「三内丸山遺跡」、島根県の「妻木晩田遺跡」等の有名な古代遺跡が見つかっている。丹後地域は、その中間地点にあって、「丹後王国」といわれる位に古代以来の文化の地である。
- ・勿論、いうまでもなく、日本海側の地域は、江戸期あるいは明治期の初頭までは、確実に我が国の表玄関、あるいは表ルートであり、数多くの都市を発達させ、独自の文化を醸成してきた。
- ・そのいわば「日本海港まち文化」を広域的に連携・交流させていくことは、地域の活性化に多いに役立つ筈である

対岸諸国との国際交流

- ・上記を発展させたところに対岸諸国との交流がある。「環日本海フォーラム」等の取り組みで、徐々に国際交流も進められてきているが、様々な問題も抱えていて十分に展開するまでには至っていないのが現状である。
- ・しかし、中国の急速な経済発展に伴って、東日本海地域の交流を深めることはますます重要な課題となってきたし、我が国が中心的な施策の一つとして進めている「ビジット・ジャパン」の重要な柱になっともいる。

* 「ビジット・ジャパン」は、外国人旅行者を増加させることによって、我が国における旅行消費を拡大させ、関連産業の振興や雇用の拡大による地域活性化といった経済効果を上げようとする国家的・戦略的な外国人旅行者来訪促進キャンペーンである。

3. 地域支援・PRの強化

地域情報誌」等のツールの充実と戦略的なPR活動の展開

- ・地域固有の歴史文化や多彩な資源等を活かした物語性のある魅力的なPRツールを作成するとともに、JRや旅行エージェント等の関係機関と連携しつつ戦略的なPR活動の展開を図る。

- ・現在取り組んでいる「地域情報誌」づくりを持続するとともに、内容の充実に努め、より魅力的な情報誌に育て上げる。
- ・近い将来には、地域の総合的な情報誌として発行していけるよう、組織体制の整備や企画力の強化等が望まれる。

* 観光地域の地域情報誌として代表的なものは、地域の歴史文化や食文化を売りにした伊勢地域のものがあり、参考になる。

ファン・サポーター会員の募集

- ・北部地域への関心を高め、誘客にもつながる安定的な顧客を確保するため、大都市地域住民を対象にした「ファンクラブ」をつくるなど、地域をサポートする会員制の組織体制の創設を検討する。

丹後大使」の設置

- ・北部地域の魅力や知られざる物語、あるいは地域における地域活性化の取り組み等をアピールしたりPRしてもらう見識を持つ方々を「丹後大使」「名誉市民」等に任命する。
- ・大使は、大都市地域住民や北部地域出身者等の中から、しかるべき選定基準で候補者をピックアップし、本人の了解を得て任命する、といった方法を採用することが望まれる。

4. 地域プロデュース力の強化

地域プロデューサー集団の組織化と定期的会合の推進

- ・地域への誘客や交通対策等を総合的に検討し、事業を計画的に推進・促進していくため、「地域プロデューサー集団」を組織化することが望まれる。
- ・このため、しかるべき知見とプロデュース力を持つ専門家の協力を得てメンバーを構成し、「北部地域プロデューサー」として登録する。登録メンバーは、一定期間の任期制とし、延長も認められるようにしておき、集団としての安定性と柔軟性を確保しておく必要がある。
- ・プロデューサー会議は、テーマに応じてしかるべきメンバーを招集して開催することとし、戦略的・効果的な施策が遂行されていくよう努める。

IV. 主要プロジェクトの展開

京都北部地域の交通ネットワーク整備を進めていくには、これまで明らかにしてきた書
施策を戦略的に推進していくことが求められる。

このため、様々な施策の中で、特に重要と思われるものを主要プロジェクトとして位置
づけ、プライオリティを高めて、段階的・戦略的に施策の推進を図っていくこととする。

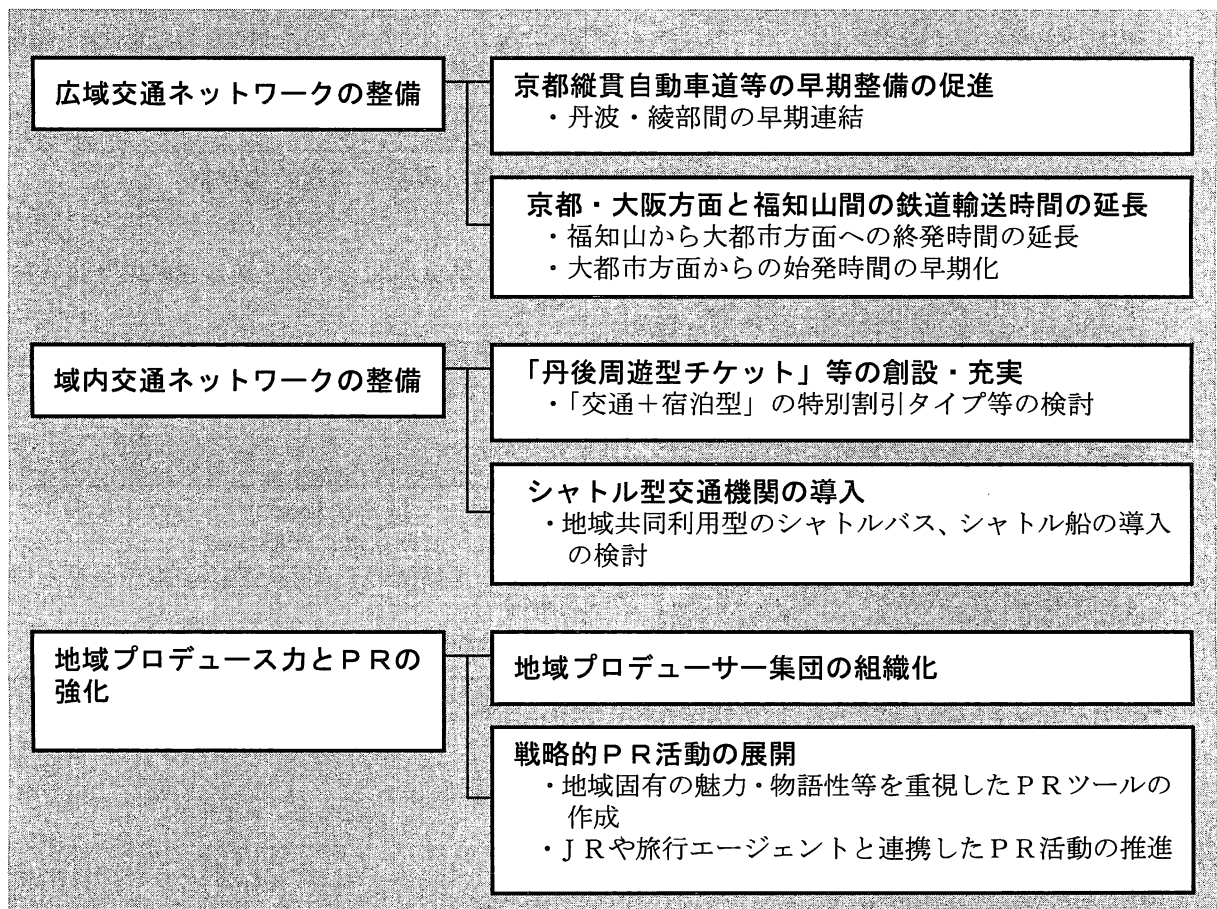
1. 初期段階の先導的主要プロジェクトの展開

初期段階で先導的に推進すべき主要施策としては、

- ・ 京都や大阪等の大都市地域からの誘客のための基盤的な条件を整えること
- ・ 北部地域内では来訪者が訪問しやすい条件や域内移動を容易にするための条件を整えること
- ・ 来訪者の満足を得るための様々な企画や仕掛けをプロデュースしたり、誘客のための戦略的なPRを展開すること

等が上げられる。

具体的には、次の施策を主要プロジェクトとして位置づけることとする。



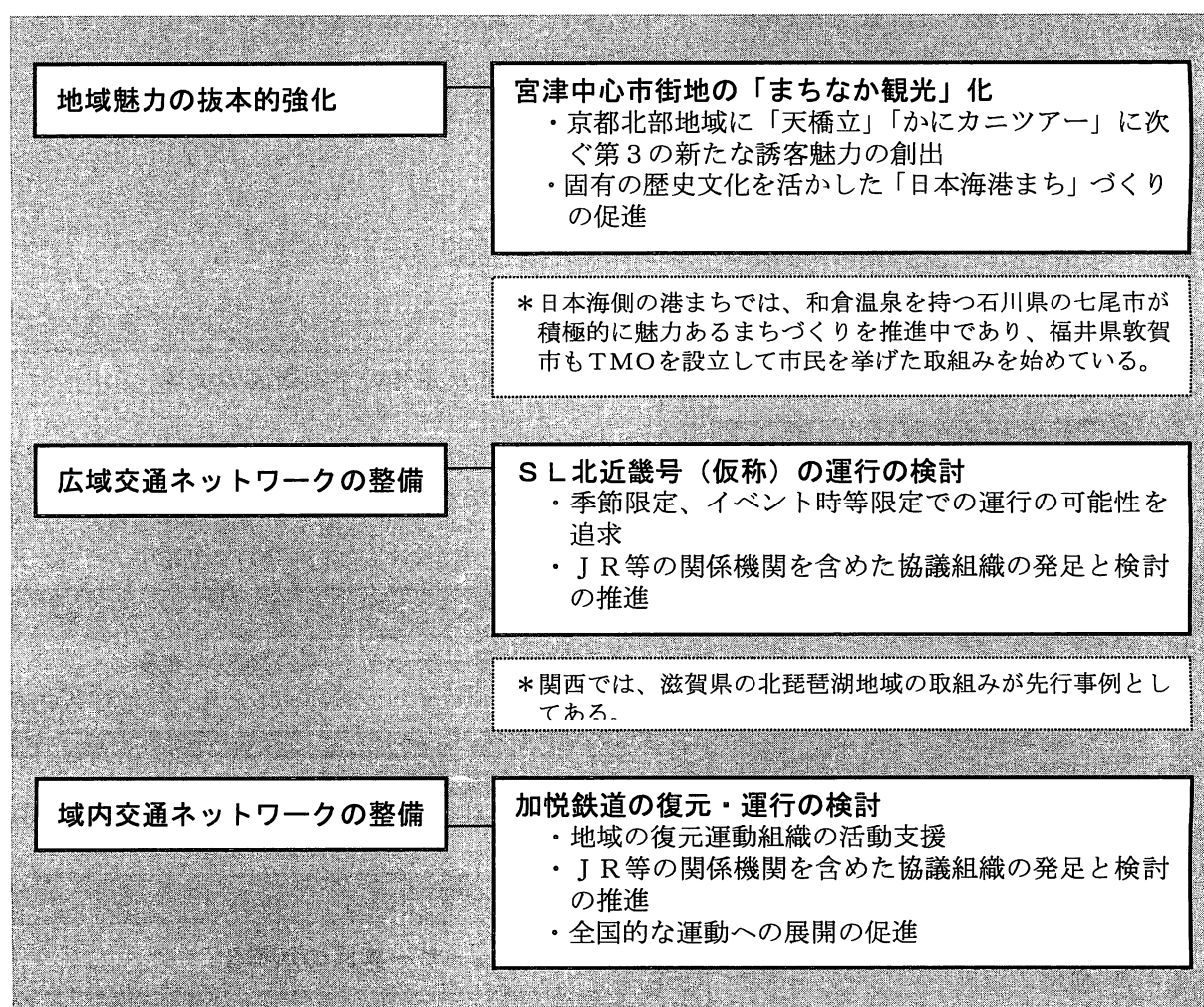
2. 中期段階の主要プロジェクトの展開

中期段階で推進すべき主要施策としては、

- ・誘客力をより高めるために、思い切ったイメージアップ作戦を展開すること
- ・そのために地域固有の歴史文化や有形・無形の資源を活用した新たな魅力ある拠点地域を創出すること
- ・それに関連して、大都市地域からの誘客力を強化する魅力ある交通手段について、思い切った手を打つこと
- ・また、地域内交通についても、全国的な話題にもなり得る地域内移動システムや魅力ある交通手段の導入を図ること

等が上げられる。

具体的には、次の施策を主要プロジェクトとして位置づけることとする。



付 京都北部地域の交通対策全体像



「京都府北部地域の交通問題研究会」構成メンバー

※平成 17 年 3 月 31 日現在

(順不同・敬称略)

《アドバイザー》

中 川 大	京 都 大 学 大 学 院 工 学 研 究 科	助 教 授
鳥 居 興 彦	(株)ジェイアール西日本クリエイト	代表取締役社長

《行政機関》

橋 本 幸 三	京 都 府 商 工 部 観 光 ・ 商 業 課	課 長
栗 田 誠 一 郎	京 都 府 丹 後 広 域 振 興 局	副 局 長
本 田 進	京 都 府 丹 後 広 域 振 興 局	企画総務部長

《交通関係機関》

森 田 力 夫	西 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 福 知 山 支 社	執行役員支社長
牧 村 壽 郎	北 近 畿 タ ン ゴ 鉄 道 (株)	専務取締役
高 見 俊 治	丹 後 海 陸 交 通 (株)	代表取締役社長

《商工関係団体》

沖 田 康 彦	網 野 町 商 工 会 会 長
---------	-----------------

《観光関係機関》

宮 崎 劭	天 橋 立 観 光 協 会 会 長
西 途 顕 太 郎	(株)ビ ッ グ ・ シ ー 代表取締役社長

《京都経済同友会》

○ 平 井 義 久	(株)京 つ け も の 西 利	代表取締役社長
■ 今 井 一 雄	(株)三 洋 商 事	代表取締役社長
△ 奥 田 省 三	福 知 山 醸 造 (株)	代表取締役社長
△ 山 口 繁 雄	(株)地 域 計 画 建 築 研 究 所	取 締 役
長谷川 一 彦	嵯 峨 野 観 光 鉄 道 (株)	代表取締役社長
牧 草 弘 師	牧 草 コ ン サ ル タ ン ツ (株)	代表取締役社長
森 正 廣	六 和 証 券 (株)	代表取締役副社長
幾 世 淳 紀	(株)文 珠 荘	代表取締役社長
藤 本 圭 司	(社)京 都 経 済 同 友 会	常任幹事事務局長

以 上 20 名

○印は副代表幹事 ■印は北部部会部会長 △印は北部部会副部会長

